

## 病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	小児がんサバイバーにおける慢性腎臓病の発症率および危険因子
当院の研究責任者 (所属)	中西浩一（琉球大学大学院医学研究科育成医学講座）
他の研究機関および 各機関の研究代表者	なし
本研究の目的	治療の進歩により、小児がん患者の生命予後が改善したため、小児がんサバイバーの長期合併症が問題となっています。重要な合併症の1つに腎機能障害があり、小児がんサバイバーでは慢性腎臓病となる危険性が高いと報告されています。本研究では、当科で治療した小児期発症がん患者において、初回治療後5年目以降の慢性腎臓病の発症率とその危険因子について検討を行います。
研究実施期間	研究機関の長の許可日（2023年12月4日）～ 2026年 3月 31日
調査データ(該当期間)	2013年10月～2023年10月の期間の情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	<p>●対象となる患者さま 2013年10月から2023年10月の期間に琉球大学病院小児科を受診した15歳以下発症の小児がん患者のうち、初回治療から5年経過している患児。5年目以降の血清クレアチニン値を1回も測定されていない症例、がんが再発した症例、二次がんを発症した症例は除外。</p> <p>●利用する試料・情報 診療録より、初発時の年齢、性別、既往歴、診断名、治療歴、再発および二次がんの有無、腎代替療法導入の有無、転帰や、初診時および初回治療後1年毎の身長、血圧、血液検査（血清P、血清Mg、血清Cr）・尿検査（蛋白定性、尿蛋白/Cr）データなど</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	なし
試料・情報の二次利用	なし

個人情報の取り扱い	研究において対象者の情報を扱う際は、個人情報とは関係のない符号または番号を付して匿名化します。論文作成時、学会発表時には個人が特定できる情報は一切用いません。また、オプトアウトの範囲外において情報の利用を行いません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の資金源はございません。 本研究は琉球大学利益相反審議部会の利益相反手続きに従い、必要事項を 申告し、その審議と承認を得て行います。
お問い合わせ先	電話：098-895-1154 担当者：琉球大学大学院 医学研究科 育成医学（小児科）講座 中西浩一
備考	